

被災地方言会話集

— 宮城県多賀城市 —

<自由会話>

自由会話の概要

収録地点 宮城県多賀城市

収録日時 2012（平成24）年7月21日

収録場所 宮城県多賀城市市川（話者A・B宅）

話題 【方言のこと】

話者

A	女	1937（昭和12）年	（収録時75歳）	[Bの妻]
B	男	1930（昭和5）年	（収録時82歳）	[Aの夫]

話者出身地

A	多賀城市高崎（タカサキ）※7歳まで東京都大田区馬込
B	多賀城市市川（イチカワ）

【方言のこと】

話し手

A 女 1937 (昭和 12) 年 (収録時 75 歳)
B 男 1930 (昭和 5) 年 (収録時 82 歳)

001A : ホーケ° ンッテ、 ダカラ アレダヨネ シタシミヤスイシネー マー、ズット
方言って、 だから あれだよね 親しみやすいしね まー、ずっと

ツズイテユクコトダト オモウヨネー。 ソシテ ナオ ナオラナイシネ。
続いてゆくことだと 思うよね。 そして ×× 直らないしね。

ハ ホーケ° ンッテユーカ ソーユーコトバツテ ウマレタト、
× 方言っていうか そういう言葉って 生まれた×、

ウマレタトキカラ ツカッテル、 コトバダカラー、 ヤッパリ ネー、
生まれた時から 使っている、 言葉だから、 やっぱり ね、

ソコノトチニ スム、 スンデルイジョーワ、 タエ ダイジダツテユーカネ、
その土地に 住む、 住んでいる以上は、 ×× 大事だっていうかね、

ソーユー ホーケ° ンワ ダイジニ スルベキダシー、 ナンテユーノカナー、
そういう 方言は 大事に するべきだし、 何て言うのかな、

ワスレラレテワ コマル、 ネー ホーケ° ンテ ネー。 シタシミヤスイシー、
忘れられては 困る、 ね 方言って ね。 親しみやすいし、

ナンカ、 ソレコソ ブンカダサネー。 ニホンノ ブンカ。 {笑}
何か、 それこそ 文化だよな。 日本の 文化。 {笑}

002B : ウーン。 ムガシワネー、 (A ムカシ ウーン) ンット
ううん。 昔はね、 (A 昔 うーん) ととても

シンドカッターネーガナー (A ホーケ° ン) ホーケ° ンッテノワネー。
たいへんだったんじゃないかな (A 方言) 方言というものね。

多賀城市 自由会話

003A : ソーダヨネー ソシテ。
そうだよね そして。

004B : ワレワレ アノ トーキョーサ イク° ト ワラワレデダランダワ。
我々 あの 東京へ 行くと 笑われてたんだわ。

ズーズーベンデ シャベツカラネー。 (A ウン)
ズーズー弁で 喋るからね。 (A うん)

ホドント ワカンナイッテ ユーワケデ。 ウーン。
ほとんど 分からないって いう訳で。 ううん。

005A : ヤッパ ホー
やっぱ ほ

006B : ダケドー
だけど

007A : ホーク° ンテ ホークンテキナ アレモ アルンダヨネ。 ソシテ、
方言って 封建的な あれも あるんだよね。 そして、

(B ウーン) アタシたち ホラ ムカシ、

(B ううん) 私達 [は] ほら 昔、

コノヘンノ オシュートメサンニ ユ ユワレタンダ、
この辺の お姑さんに × 言われたんだ、

ヨクネー、 オ オバーサンニネー。
度々ね、 × おばあさんにね。

ナクナッタ オバーサンニ。 (B ウーン)
亡くなった おばあさんに。 (B ううん)

コノ、 アノ ヨメたち、 コノヘン オーイシー、
この、 あの 嫁達 [が]、 この辺 [は] 多いし、

多賀城市 自由会話

オーバーサンタチ オシュートメサンタチモ ホラ、 リッパナ、 マーネー、
おばあさん達 お姑さん達も ほら、 立派な、 まあねえ、

アレデショ ハタライテキテー、 ネー ソレコソ
あれでしょ 働いてきて、 ね それこそ

タイヘンナジダイ イキテキタヒトタジダガラ、アタマ アカ°ンナイワケヨネー、
大変な時代 [を] 生きてきた人達だから、 頭 [が] 上がらないわけよね、

ヨメーモ ネ、 ソースト、
嫁も ね、 そうすると、

コノ ガキコメラ [1] ッテ イワレタンダヨネ、 アンタ。
「この ガキコメラ」って 言われたんだよね、 あんた。

アン、 アンダノー オ オ オヤ、 オーバーサンダノニ。
××、 あんたの × × 親、 おばあさんなんかに。

コノヘンノ オーバーサンタチ ミンナネー ヨメーサンタチバネー、
この辺の おばあさん達 [は] 皆ね 嫁さん達をね、

コノ ガキコメラ ッテ イワレタネ、
「この ガキコメラ」って 言われたね、

ガキコ、 ガキコッテ。 (B ガキコッテガヤ)

ガキコ、 ガキコって。 (B ガキコってかい)

ガキコッテ、 シッ、 ワカンナイデショ、 ガキ、 ガキッテ、 ガキッテ
ガキコって、 ××、 分からないでしょ、 餓鬼、 餓鬼って、 餓鬼って

ヨク オトコノコノ コトマ、 コトバダッタノカス、 コドモ ッテイミ。
よく 男の子の こと×、 言葉だったのか×、 子供 っていう意味。

008B : オンナノコデショ ガキコツツーノ。

女の子でしょ ガキコっていうの [は] 。

多賀城市 自由会話

009A : ア オンナノコ。 ガキコッテ イッタノカシラ。 (B ウン)
あ 女の子。 ガキコって 言ったのかしら。 (B ううん)

ナンカ、 ホントノイミワラ ガキコッテ コドモノコトダヨネー。
何か、 本当の意味は ガキコって 子供のことだよね。

(B ウン) ソレオ。

(B うん) それを。

010B : ダケド一、 (A ワルイ)
だけど、 (A 悪い)

ヨメオ ヨメーク° レーナ ン マデワ ガキコツツタンダナ。
嫁を 嫁ぐらいな × までは ガキコって言ったんだな。

011A : ガキコメラッテ (B ウン) ツケラレテ。 {笑}
ガキコメラって (B ううん) つけられて。 {笑}

012B : ガ ガ ガキコメラツツ一ノワ
× × ガキコメラっていうのは

013A : ダッテ、 ソレガ、 スコ°イ
だって、 それガ、 すごい

014B : ガキコラ ツツ一イミ。
ガキコ達 っていう意味。

015A : ガキコメラッテ。
ガキコメラって。

016B : ラ ツツ一イミ。 ガキコラ。
達 っていう意味。 ガキコ達。

017A : スコ°イ、 ダッテネ、 ワルイイミナンダヨネ。
すごい、 だってね、 悪い意味なんだよね。

ワルイイミ、 (B ワルイ) ニクラシー。
悪い意味、 (B 悪い) 憎らしい。

ニクラシーイミデ イワレタノ。 (B ウンウンウン) ソレデ
憎らしい意味で 言われたの。 (B うんうんうん) それで

018B : ダケド、 カワイードゴモ アッタンデネーガヤ。
だけど、 可愛いところも あったんじゃないかな。

019A : ダケドー、 アー (B ガキコメラツツーノ)
だけど、 あ (B ガキコメラっていうの [は])

ワタシラ ヨメコ°、ヨメコ° タチ、ヨメコ° ッテワ ュッテタンダヨネ。
私達 嫁さん、 嫁さん達、 ヨメゴっては 言ってたんだよね。

シテ ヨメコ° タチワ ソーワ ウケトンナインダヨネ、
そして 嫁さん達は そうは 受け取らないんだよね、

コノ ガキコメラッテ ュワレットサー、{笑}
「この ガキコメラ」って 言われるとさ、 {笑}

ワルクチ ュワレテルヨーニ オモッテタサ、
悪口 [を] 言われているように 思っていたさ、

ダカラ ズイブン コノヘンワ ホーケンテキダナー、
だから 随分 この辺は 封建的だな [と]、

コノヘン チクワナー、 タガジョーノ コノ {笑} コノチーキワ
この辺 [の] 地区はな、 多賀城の この {笑} この地域は、

トクベツ ホー {笑} イ イナカツ {笑} ュッテタンダヨネー、
特別 × {笑} × 田舎 [っ]て {笑} 言ってたんだよね、

ヨメ (B ウーン) タチワネー、 ミンナネー。 (B ウーン)
嫁 (B ううん) 達はね、 皆ね。 (B ううん)

多賀城市 自由会話

ミンナ イマー ソーユーヒトタチ
皆 今は そういう人達 [は]

ナクナッテシマッタカラー。 {笑} (B ウーン) ネ。
亡くなってしまったから。 {笑} (B ううん) ね。

イ タマニ オモイデバナシニ ユッテルヨ、 ワ ヨメタチ ワタシタチ。
× 偶に 思い出話に 話してるよ、 × 嫁達 私達 [は]。

アーイナ オーバーサンタチニ ヨメコ°
あんな おばあさん達に 嫁さん [は]

コノガキコメラッテ ユワレタッチャナヤーッテ。
「このガキコメラ」って 言われたよねって。

フツーニネ ナンニモ ワルイコトシナイデ ハ モクモクト
普通にね 何にも 悪い事 [も] しないで × 黙々と

ハタ ハタライテバッカリイタノニ、
×× 働いてばかりいたのに、

ホラ カセケ° カセケ° テ コノガキコメラッテ {笑}。
ほら 働け 働けて 「このガキコメラ」って {笑}。

020B : カンバネヤミ [2] ツツーンダ。
カバネヤミ っていうんだ。

021A : カ ソーダネ カバネ (B カ) ヤミダノ、 (B カバネ)
× そうだね カバネ (B ×) ヤミだの、 (B カバネ)

ガキコメラッテ。
ガキコメラって。

022B : カンバネシギジリ [3] ツーノ。 カンバネヤミツツーンダネ。
カバネヒキズリ っていうの。 カバネヤミっていうんだね。

(A ス ネ) {笑}

(A × ね) {笑}

023A : ソナコトユワレテネ、 ス スコ° カッタヨネ。
そんなこと [を] 言われてね、 × 凄かったよね。

デモネ アノー ナンツーンダ、 (B ンヤー ホーケ° ン) イマ
でもね あの 何て言うんだ、 (B いや 方言) 今 [は]

(B ン ウーン) イナクナッタカラ ソーユッテルヒトタチ。

(B ん ううん) 居なくなったから そう言っている人達 [は] 。

024B : ダイブー (A ヨクナッ) ナグナッタンダナー、 (A ナクナッテルカシラ)
だいぶ (A ××××) 無くなったんだな、 (A 無くなってるかしら)

ワスレラッテアンダナー。

忘れられているんだな。

025A : ワス ウーン ソーカモネー。 (B ウーン) ダゲッドモ、
×× ううん そうかもね。 (B ううん) だけれども、

026B : ネー。

ね。

027A : ヤッパリ ワ イマノ ワカイヒトタチ ネー、
やっぱり × 今の 若い人たち [は] ね、

ナンダロ、 アッチコッチカラ ハイッテキテルカラネー、 ココノ。

何だろう、 あちこちから 入ってきてるからね、 この。

028B : イマノ ワガイヒトタチワ ホドント

今の 若い人たちは ほとんど

ズーズーベン ツカワナグナッダシネー。 (A ウーン。)

ズーズー弁 [を] 使わなくなったしね。 (A ううん。)

多賀城市 自由会話

シンカンセンカ° (A イロンナ トチカラ ハイッテキテルカラ)
新幹線が (A 様々な 土地から 入ってきてるから)

ハヤグナッテシマッテ、 {笑}
速くなってしまっテ、 {笑}

トーキョートト アノー、ホ ズーズーベンワ
東京都と あの、 × ズーズー弁は

ナグナッテクル、デナイスカワ、 イマカラ。
無くなってくる、で [は] ないですか、今から。

029A : テユーカ ホーケ° ンテ (B ウン) ユーカネー、ドーイウ、
というか 方言テ (B ううん) いうかね、 どういう、

ソーダネ ホーケ° ンネー (B ウン) アンマリ ツカ キカナイネー。
そうだね 方言ね (B ううん) あまり ×× 聞かないね。

030B : オーソラゲー、ウン ホーケ° ンカ° ナグナッテ、
おそらく、 ううん 方言が 無くなって、

ミナ、 ウーン ヒョージュンコ° ン ナンデナイスカー。
全部、 ううん 標準語に なるんではないですか。

031A : アレ ギンナカ° ス [4] ダノッテ ユツタンダヨネ ムカシネ。
あれ ギンナガシ とかって 言ったんだよね 昔ね。

(B ウーン) ホーケ° ン。 ホーケ° ンスカヤ。
(B ううん) 方言。 方言ですか。

032B : ジンナカ° ス ッツタンダナー。 (A ホ ホーケ° ン)
ギンナガシ っテ言ったんだな。 (A × 方言)

ジンナカ° ス ツタノワ ジンザ、ギンザ、 トーキョーノ
ギンナガシ っテ言ったのは 銀座、銀座、 東京の

ギンザオ ナカ° ス (A アー) ツイーミデネーノカイ。
銀座を 流す (A ああ) っていう意味ではないのかい。

033A : ア ソーイウイミカ°。(B ウン) アルンダネー。
あ そういう意味が。(B うん) あるんだね。

034B : ムカシワ アー トーホグベンデ、
昔は ×× 東北弁で、

ジンナカ° スヤ コノー ジンガス、 ジンナカ° スヤロー コノー、
ギンナガシ× この ××××、 ギンナガシ野郎 この、

(A ツテユート ソレモ) ハイカラノ、
(A と言うと それも) ハイカラな、

(A ソレ ワルクチニ キコエル) ワガイオドゴ。
(A それ 悪口に 聞こえる) 若い男。

035A : ネー。(B ウン) ワルクチノ コトバツツタッテ _____。
ね。(B うん) 悪口の 言葉っていったって _____。

036B : ダケドー ナンダカ コノアイダ ラジオデ ユッテタツケ、
だけど 何だか この間 ラジオで 言ってたけど、

ギンザオ ナカ° スコドオ ギンナカ° ス ツツーンデヤ。
銀座を 流すことを ギンナガシ っていうんだよ。

037A : アー ダカラ ギン、 ソーユーイミアイカラ キタノカシラネー。 {笑}
あ だから ××、 そういう意味合いから 来たのかしらね。 {笑}

ダケドー、 (B ウン) オッテ
だけど、 (B うん) ×××

ダテオトコトカッテユーイミモ アルンダッテ。(B アー ダテサンノネ)
伊達男とかっていう意味も あるんだって。(B ああ 伊達さんのね)

多賀城市 自由会話

ダテ、ダテオトコ、 イロオトコトカ。 (B ウーン)
伊達、伊達男、 色男とか。 (B ううん)

シャ シャレ、 (B ダイ ダテサンガ) シャレモノ。
× 洒落、 (B × 伊達さんが) 洒落者。

(B アー シャレモノ) {笑}

(B ああ 洒落者) {笑}

038B : シャレオドゴ、 シャレオドゴ、 ジンナカ° スッスーンダネー。
洒落男、 洒落男、 ギンナカ° シって言うんだね。

039A : アト イマ、 ホラ ゴザインナンテ イワナイヨネ。
あと 今 [は]、ほら ゴザインなんて 言わないよね。

ユーヒト イネーフネー。 (B ウーン)

言う人 いないよね。 (B ううん)

イラッシャイッテノ、 ゴザイン ッテ ャッテタッチャ、ヨクネー。
「いらっしゃい」っていうの、ゴザイン って 言ってたよね、よくね。

040B : ゴザインッテ ャッテタンネー。 (A ウーン)

ゴザインって 言ってたよね。 (A ううん)

041A : オライサ ゴザイン [5] トカネ。 (B ウン)

「オライサ ゴザイン」 とかね。 (B うん)

042B : ウーン。

ううん。

043A : メンタマ {笑} メンタマッテユーコトバ ホーケ° ンカシラ。

目ん玉 {笑} 目ん玉っていう言葉 [は] 方言かしら。

044B : メンタマツツーノワ、{笑} ホーケ° ンデネーッチャ、

目ん玉っていうのは、{笑} 方言ではないだろ、

多賀城市 自由会話

マナグツツーンダイッチャ ホーク°ン。
マナグっていうんだよ 方言 [では]。

(A アー ダカラ。 ホーク°ンジャナイ) マナグ。

(A ああ そうだよね。方言ではない) マナグ。

045A : アー マナクカ° ホーク°ン。 {笑}

ああ マナクが 方言。 {笑}

宮城県多賀城市方言会話集（自由会話）注記

〔1〕 ガキコメラ

女の子の卑称として用いられることが多い。

〔2〕 カンバネヤミ

「カンバネ」は東北方言で「体」の意味。「ヤミ」は「病み」。仕事をせずに怠けてばかりいる人のことをこう呼ぶ。

〔3〕 カンバネシギジリ

「カンバネヤミ」と同義。「シギジリ」は「引き摺り」。

〔4〕 ギンナカ° ス

「ギンナガシ（銀流し）」は過度におしゃれな人、あるいは見栄っ張りのこと。『日本方言大辞典』によれば、もともと、水銀に砥粉を混ぜ、金属に擦り付けて銀色にすることを言ったが、はがれやすいことから上記のような意味が生じたと考えられている。

〔5〕 オライサ ゴザイーン

「オライ」は「私の家」の意味。「ゴザイン」は「いらっしやい」にあたる。

宮城県多賀城市方言会話集（自由会話）担当者

収録担当者 魏 ふく子（東北大学大学院文学研究科博士後期課程 3 年）
王 卓（東北大学大学院文学研究科博士前期課程 1 年）
町田 隆弘（東北大学文学部 3 年）
櫛引祐希子（追手門学院大学講師）

文字化担当者 魏 ふく子（東北大学大学院文学研究科博士後期課程 3 年）
町田 隆弘（東北大学文学部 3 年）